

指定管理業務 事業評価書

令和4年度 指定管理者業務 事業評価表

施設名	龍門ふるさと民芸館
施設所管課	商工観光課
指定管理者名	一般社団法人 那須烏山市観光協会
指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日

確認項目	評価基準	自己評価	所管評価
I 履行の確認			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)職員配置	適切な人員配置がされたか	A	A
(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	D	D
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	A
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	B	B
(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	A	A
3 保守点検業務			
(1)保守点検業務	保守点検が適切に行われたか	A	B
(2)清掃業務・維持管理業務	清掃業務・維持管理が適切に行われたか	A	A
(3)保安・警備業務	保安・警備業務が適切に行われたか	A	A
(4)修繕業務	修繕業務が適切に行われたか	A	A
4 事業の実施に関する業務			
(1)指定業務	事業が適切に行われたか	A	A
(2)自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	A	A
5 個人情報の取扱	個人情報の取扱いが適正に行われたか	A	A
6 設置目的の達成度(管理目標)	設定目標に対する結果は妥当であるか	A	B
II サービスの質の評価			
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	A	A
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	A	A
3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	A	A
4 指定・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	A	A
III サービスの安定性の評価			
1 事業収支	事業収支は妥当であるか	B	B
2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は、妥当であるか	B	B
3 団体等の経営状況	団体の経営状況分析指標の結果は、妥当であるか	B	B
総合評価		D	D
その他特記事項(成果・改善等)			
1 指定管理者	昨年の休業要請による閉館がおよそ150日あったが、今年リニューアルオープン後、初の年間通しての通常営業となった。休業期間がなかったため、入館者、物産売上ともに増加するのは当然であるが、物産売上については、目標値の600万円を超えた。カフェ売上については、微増となった。本年度も民芸館入口では、JAなす南の協力の下、農産物の販売を実施。毎月1回、烏山語りの会による民話の語り会を実施し、好評だった。		
2 施設所管課	・施設の管理運営は概ね適切に行われており、入館者数についても過去最高の64,730人となった。今後も民間ならではのノウハウで利用促進業務に取り組まれない。 ・昨年度の指示事項であった職員研修が未実施。閑散時期に実施するなど、施設の状況に合わせた研修計画の作成と計画に基づいた研修の実施が必要。 ・施設や設備の保守管理は概ね適切に行われているが、一部未実施の点検があった。施設等の管理に必要な点検への知識を深めるとともに、職員間で共有することが望ましい。		
総合評価の理由		施設全体の管理運営は協定書等を遵守し、概ね適切に行われている。民話語りや農産物販売など関係団体と連携し、利用促進に取り組まれた他、自主事業等により入館者の増加に取り組まれた。指定期間を通し、職員研修が定期的に行われなかったのが残念であるが、今後は積極的な研修の実施に取り組まれない。	